【 御蔵島村 】　胃がん検診　平成24年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	81	66	147
【東京都調査による対象者率（東京都）：59.6%】			
実際の受診者数	19	22	41

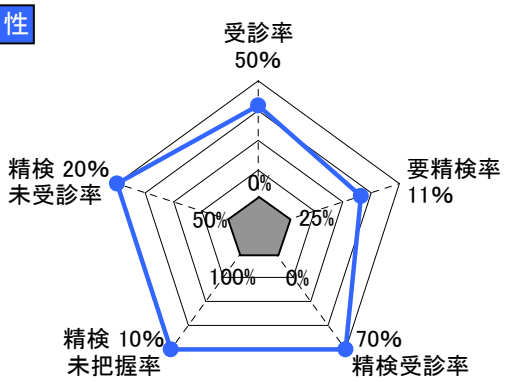
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

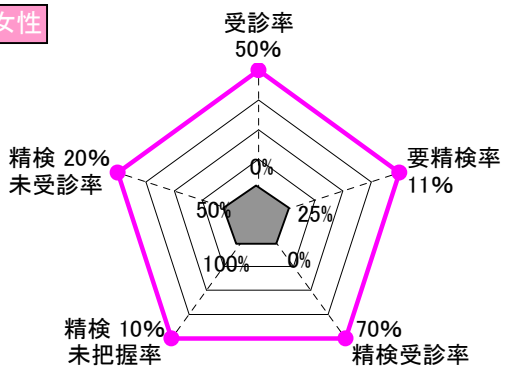
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	39.6%	56.4%	46.6%
要精検率	11%以下	15.8%	4.5%	9.8%
精検受診率	70%以上	100.0%	100.0%	100.0%
精検未把握率	10%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.00%	0.00%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【 御蔵島村 】　肺がん検診　平成24年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく肺がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	30～39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	81	66	147
【東京都調査による対象者率（東京都）：65.9%】			
実際の受診者数	13	15	28

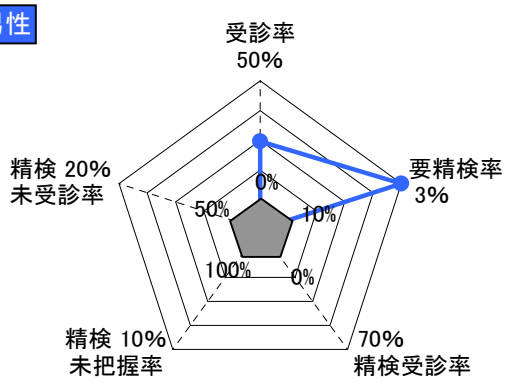
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

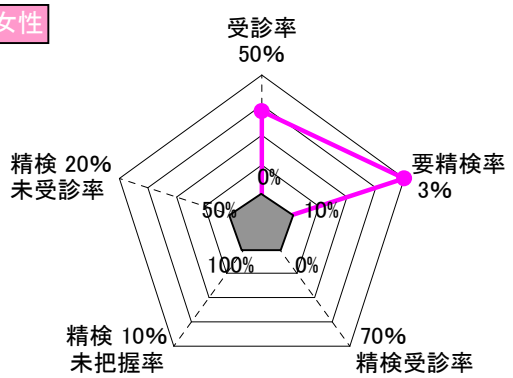
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	24.5%	34.9%	28.9%
要精検率	3%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検受診率	70%以上	-	-	-
精検未把握率	10%以下	-	-	-
精検未受診率	20%以下	-	-	-
陽性反応適中度	1.3%以上	-	-	-
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

【 御蔵島村 】　大腸がん検診　平成24年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	30～39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	81	66	147
【東京都調査による対象者率（東京都）：64.9%】			
実際の受診者数	19	22	41

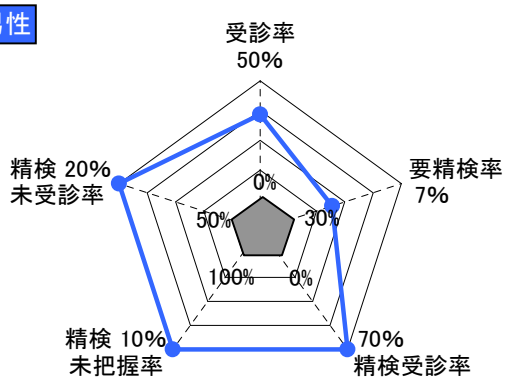
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

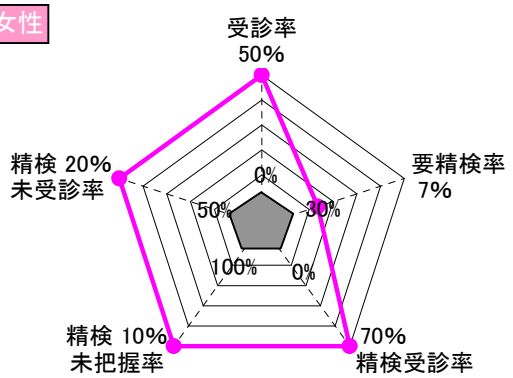
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	35.8%	51.2%	43.2%
要精検率	7%以下	21.1%	9.1%	14.6%
精検受診率	70%以上	100.0%	100.0%	100.0%
精検未把握率	10%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.13%以上	0.00%	0.00%	0.00%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【 御蔵島村 】　子宮頸がん検診　平成24年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況＞

対象年齢（20歳以上：隔年）	毎年
検査方法（細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	間隔について毎年実施
左記以外の検査の実施	コルポスコープ診

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		119	
【東京都調査による対象者率（東京都）：64.8%】			
実際の受診者数		*54*	

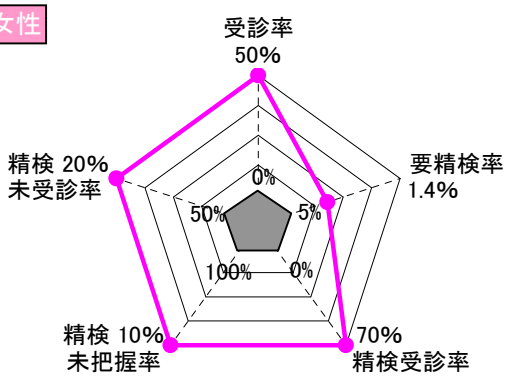
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		*70.1%*	
要精検率	1.4%以下		3.7%	
精検受診率	70%以上		100.0%	
精検未把握率	10%以下		0.0%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.0%	
がん発見率	0.05%以上		0.00%	

女性



【評価結果】

＜２年連続受診者未把握＞
２年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、２年連続受診者の集計が必要です。

＜要精検率＞
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。